

キャリア・パスポート活用例

～各学期の振り返りと目標設定（ICT 活用）～

| | | | |
|--------------|-------------------------------|------------|------|
| 校種・学年 | 中学校・全学年 | 教科等 | 学級活動 |
| 活用場面 | 2学期の始めに、1学期の振り返りと2学期の目標設定を行う。 | | |

1 事例の概要

埼玉県で行われているキャリア・パスポートは、年度の始めと終わりの活用を想定しており、目標の設定や、振り返りを行い生徒の変容を見取る資料として取り組んでいる。また、従来より学期ごとの振り返りや目標設定の学級活動を行っており、従来のキャリア・パスポートの活用と、各学期に行っている「振り返りや目標設定」の学級活動を合わせることで、生徒の変容をより細かく、より具体的に見取るための資料として活用していく。従来の活用方法と学校の実態と合わせることで、生徒が自分の考えに気付く機会を増やしていくことができると考える。

取組の概要として、キャリア・パスポートとタブレット PC(授業支援ソフト・ポジショニング機能)を併用して使い、自分の考えと他者との考えを視覚化することで、より分かりやすく共有し、「新しい考え方」「新しい方向性」「新しい環境」に気付き、考えられる柔軟性を身に付けさせることを目標とする。また、「自分ならではの良さ(考え方)」について、他の生徒と共有し認め合い、現在の生活を振り返り、学ぶことの意義を意識し、自己実現を図ろうとする態度を養う学級活動とする。

- (1) キャリア・パスポートの左面については、年度当初に設定した自己の目標に対して、どのように変容しているかを「近づいている」から「近づいていない」の間に印を付け、具体的な内容を記述する。

【中学2年生】

名前

自分を見つめてみましょう

★ なりたい自分に近づけたことを書きましょう

① 学習面でなりたい自分に近づいていますか

近づいていない | 近づいている

近づけたこと(2)を記述してください

② 生活面でなりたい自分に近づいていますか

近づいていない | 近づいている

近づけたこと(2)を記述してください

③ 家庭・地域との関わりでなりたい自分に近づいていますか

近づいていない | 近づいている

近づけたこと(2)を記述してください

④ 習い事・好きなことでなりたい自分に近づいていますか

近づいていない | 近づいている

近づけたこと(2)を記述してください

★ なりたい自分に近づけたことを書きましょう

⑤ 1学期の出来事で自分の気持ちが変わったことはありましたか

あった・なかった

⑥ 今、友達のために自分が出来る事は何かありますか

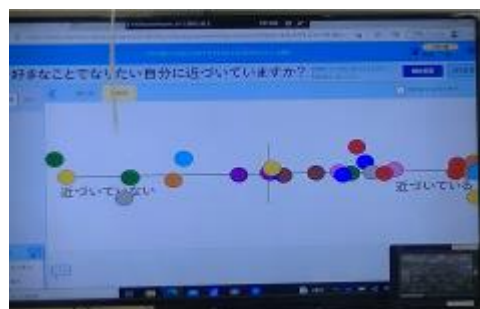
★ 2学期の目標を考えよう

⑦ 自分の将来の夢に向かって、何かに取り組んでいきますか

⑧ 今、何かにチャレンジしたいことがありますか

○ 担任の先生から ○ 保護者などから

- (2) それぞれの項目(学習面、生活面、家庭・地域、習い事・好きなこと)について学習活動ソフトウェアのポジショニング機能を用いて視覚化し共有する。



- (3) 可視化した情報を共有した中で、今の自分の「新しい考え方」「新しい方向性」「新しい環境」に気づき、「自分ならではのよさ(考え方)」を再確認する。
- (4) 1学期での活動を振り返り、2学期に新しく取り組みたいこと、チャレンジしてみたいことについて前向きな意見を考える。(キャリア・パスポート右面)
- (5) まとめと振り返りを行う。学習活動ソフトウェア(ポジショニング機能)を使用。



2 活用の利点

- ・ ICT 機器(ポジショニング機能)の適切な活用により情報を可視化し共有できる。
- ・ 積極的な発言が得意ではない生徒に対して、ICT 機器は有効的な手立てとなる。
- ・ キャリア・パスポートは自己の変容を振り返る上で重要な資料であり、有効的に活用することができる。
- ・ 細かな変容を見取るために定期的に記録を残すことができる。
- ・ キャリア・パスポートと ICT 機器を合わせて使用することによって、生徒の興味関心を深めることができる。
- ・ 視覚化することにより、集団の中での自分の立ち位置を確認することができる。

3 参考資料

- ・ 「キャリア・パスポート」の様式例と指導上の留意事項 (文部科学省)
- ・ キャリア・パスポート(例示資料)中学校指導者用 (文部科学省)
- ・ 埼玉県中学校進路指導・キャリア教育指導資料 (平成 28 年 3 月)